第35号
2014年5月1日 発行

いちかわみさと 議会だより

● お・も・て・な・し（寺所さくらの里）

平成26年 3月定例会

第1回臨時会

- 平成26年度当初予算 88億2,256万円の使いみち・・・・ 2～3
- 条例の制定・改正・・・・・・・・・・・ 4
- 平成25年度補正予算・・・・・・・・・・ 5
- 常任委員会・組合議会報告・・・・ 6～7
- ４議員が一般質問・・・・・・・・・ 8～11
- 合同現地調査・・・・・・・・・・・・・ 12
- 峡南医療センター開業・・・・・・・・・ 13
- 審議結果・討論・請願・・・・・・ 14～15
- みんなのページ・・・・・・・・・・・・ 16

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1790-3
TEL：055－272－1108 FAX：055－272－2525
E-mail：gikai-m@town.ichikawamisato.lg.jp

発　行／市川三郷町議会
責任者／議長　内田　利明
編　集／議会広報編集特別委員会

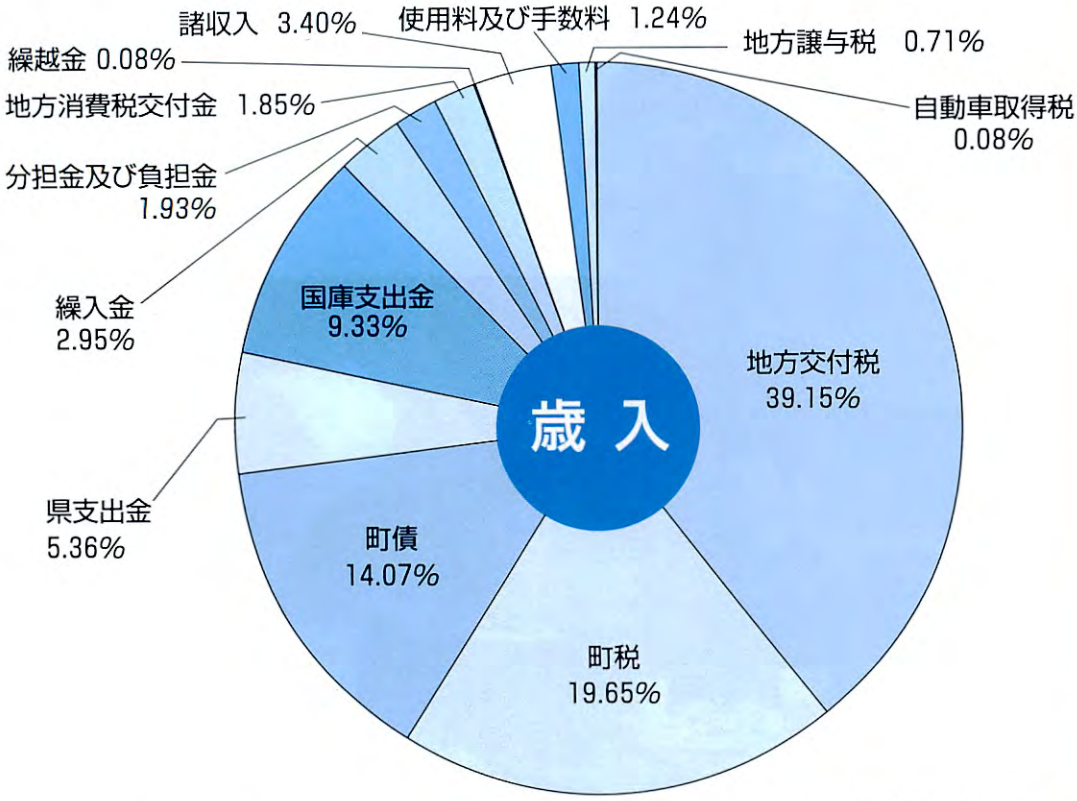
を可決

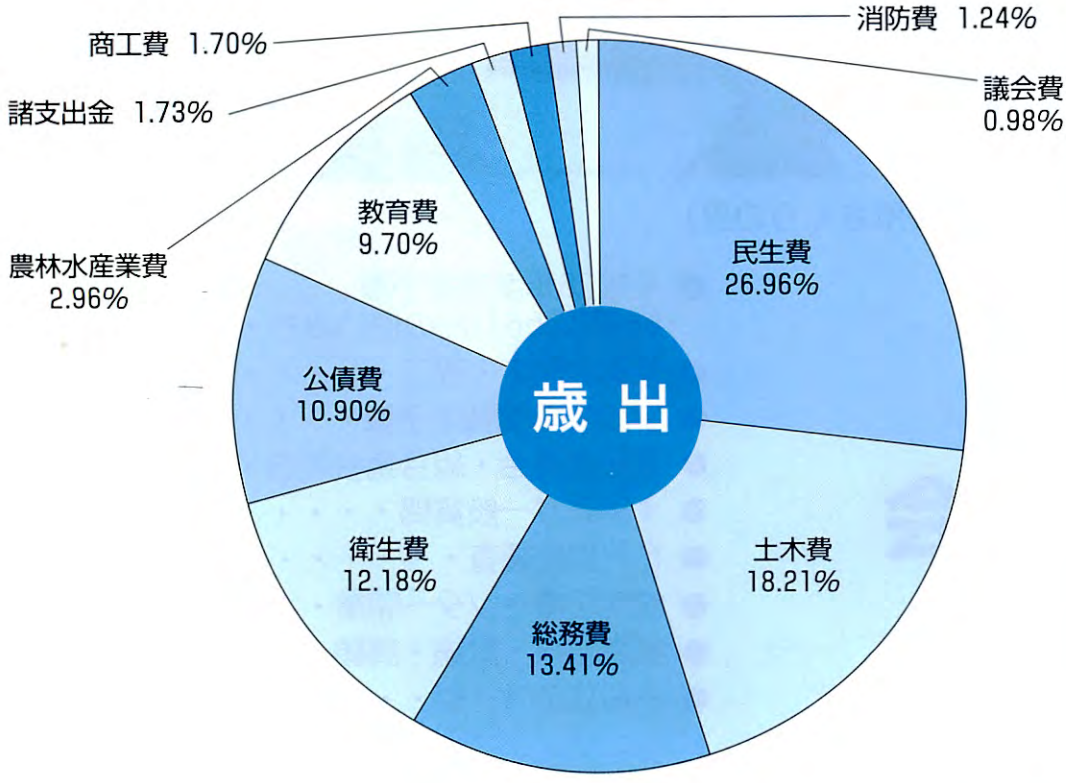
前年度比 **3.58%増** 拡大予算

平成26年第1回定例会は、3月4日から18日までの15日間にわたり開催されました。今定例会では、平成25年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、条例の廃止・改正、平成26年度当初予算など55議案、その他5件が提出され、いずれも原案どおり可決、承認されました。

また、請願2件は採択されました。

●一般会計予算のなかみ

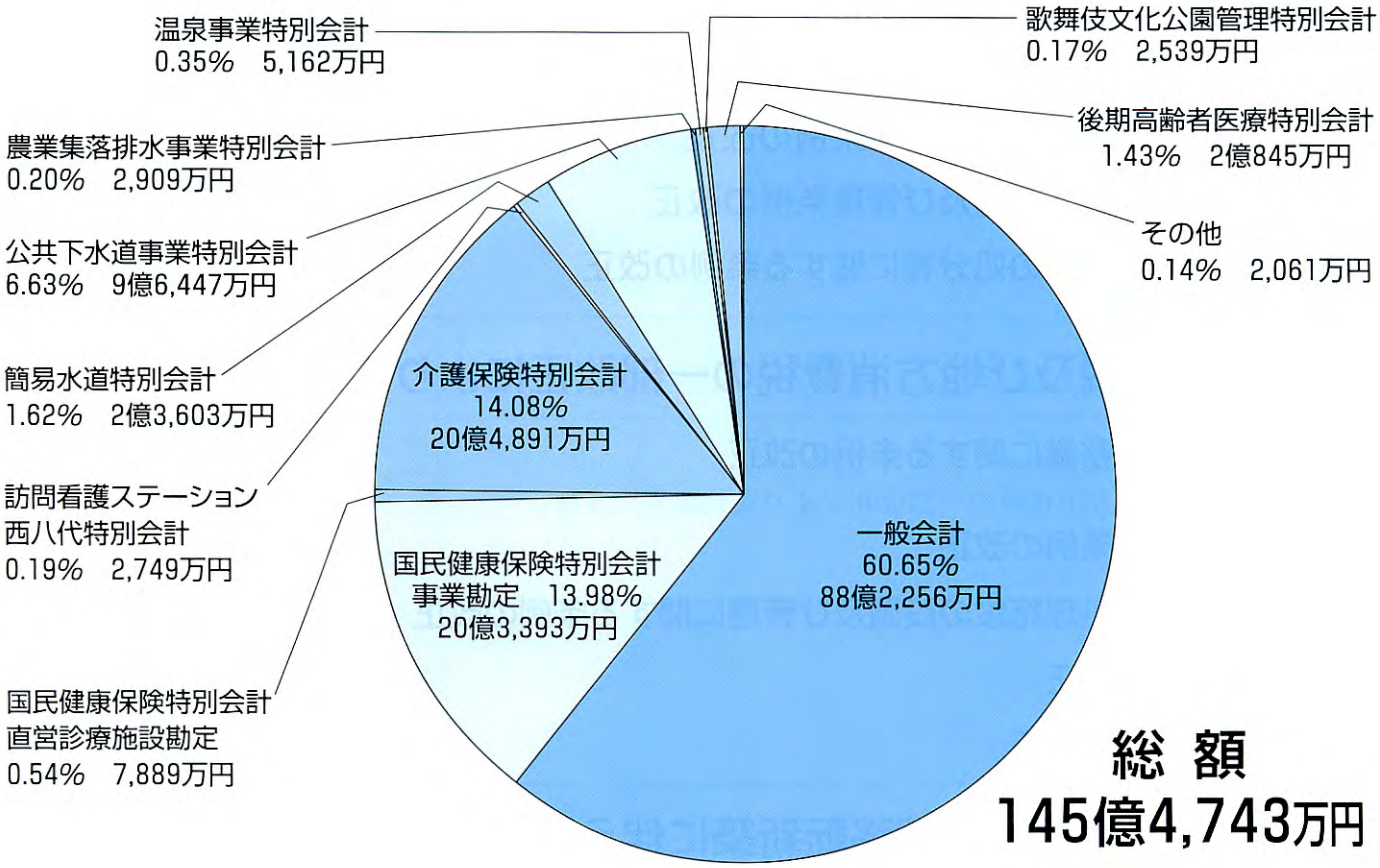




平成26年度一般会計当初予算

88億2,256万円

●一般会計予算・特別会計（57億2,487万円）予算の状況



総 額
145億4,743万円

主な新規事業	予算額（万円未満は四捨五入）		
市川高校100周年記念等寄附事業	220万円	老健事業清算事業費	3,298万円
市川三郷町議会議員一般選挙費	1,480万円	峡南医療センター負担金	2億87万円
山梨県知事選挙費	1,394万円	産業立地事業費助成事業	2,864万円
山梨県議会議員一般選挙費	602万円	アグリ甲斐出資金増資事業	100万円
町税口座振替推進キャンペーン	50万円	ホースタワー設置・改修事業	472万円
役場本庁舎消防設備改修・火災報知器設置事業	509万円	上野小学校大規模改造事業	968万円
三珠及び六郷庁舎照明LED化事業	652万円	小中学校屋内運動場ガラス等改修事業	1,836万円
町民会館エレベーター改修事業	628万円	給食配送車購入事業	580万円
甲斐岩間駅東町有地活用計画案作成事業	210万円	小中学校少人数学級の推進事業	4,583万円
長寿・医療費給付金事業	3,286万円	市川南中学校屋上防水事業	211万円
臨時福祉給付金支給事業	4,500万円	三珠中学校屋内運動場等屋根改修事業	2,702万円
子育て世帯臨時特例給付金支給事業	1,723万円	小中学校ドアホーン設置事業	62万円
大塚保育所再生エネルギー等導入事業	2,538万円	大同地区公民館解体事業	1,523万円
電気自動車等急速充電器整備事業	557万円	市川大門弓道場改修事業	350万円
町立病院事業清算事業費	1億9,810万円		

条例の廃止 1件　改正 19件

「峡南医療センター」設立のための条例改正

- **病院事業の設置に関する条例等廃止**
  平成26年4月1日より、本町と富士川町による企業団「峡南医療センター」が設立されるため、条例廃止1件・改正7件。
- **職員定数条例の改正**
- **職員給与条例の改正**
- **職員の定年等に関する条例の改正**
- **特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正**
- **職員の特殊勤務手当に関する条例の改正**
- **コミュニティバス設置及び管理条例の改正**
- **公営企業の剰余金の処分等に関する条例の改正**

消費税及び地方消費税の一部改正により本条例改正

- **戸別浄化槽の整備に関する条例の改正**
  消費税及び地方消費税の一部改正により条例改正　5件。
- **簡易水道給水条例の改正**
- **農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の改正**
- **下水道条例の改正**
- **水道給水条例の改正**

大同地区公民館移転新築に伴う条例の改正

- **役場支所及び出張所設置条例の改正**
  大同地区公民館の移転新築に伴い、条例改正　3件。
- **公告式条例の改正**
- **公民館設置及び管理条例の改正**

- **社会教育委員条例の改正**
  社会教育法が改正されたことに伴い、委員の委嘱の基準を条例で定める。
- **重度心身障害者医療費助成条例の改正**
  県の条例の一部改正に伴い、一部を改正。
- **農業近代化等資金利子補助に関する条例の改正**
  融資機関を拡大することに伴い、一部を改正。
- **職員給与条例の改正**
  平成25年県人事委員会勧告に鑑み、一部を改正。

平成25年度　一般会計補正予算

（万円未満は四捨五入）

収入支出の補正額は

補正額	**△7,255万円**
総　額	**94億5,809万円**

収入のおもな内訳は

国庫支出金	△277万円
県支出金	△1,021万円
繰越金	4,816万円
町債（借入金）	△4,760万円

おもな使いみち

第１回　臨時会　（1月27日）

大同地区公民館建設工事費更正	△2,925万円
みたまの湯ボイラー取り替え工事費	2,245万円

民生費

自立支援介護給付費・訓練等給付費更正	△2,000万円

総務費

郡農前交差点歩行者安全対策工事費等更正	△241万円

土木費

町道矢作・上野線JR工事協会負担金	4,000万円

衛生費

ドクターヘリ離着陸場新設工事費追加	780万円
市川三郷病院事業会計負担金（老健分）追加	3,700万円
働く世代女性支援がん検診委託料	350万円
予防接種委託料更正	△1,500万円
山王地区水道負担金追加	684万円

雪害対応費

野沢菜・もろこしトンネル復旧補助費	1,633万円
除雪等費用（専決処分）	844万円
除排雪委託料追加	1,655万円

総括質疑

問　一瀬　正議員

市川三郷病院の常勤医８名は、現状維持できるのか。

答　伊藤病院事務長

外科・泌尿器・眼科と内科の岩瀬先生は変わらない。内科の小俣・浅川先生は市川三郷・富士川病院を相互に診てくれることになっている。富士川病院診療日は、医大の第一内科から２名の医師が派遣される。

問　一瀬　正議員

市川三郷病院の入院の受け入れ体制は。

答　病院事務長

４月１日から、３階の50床で再開していく。２階は改修計画をつくり一般病床40、療養40の合計80床でのスタートをするための準備をしていく。

報告　質疑の一部を要旨のみ掲載します

総務教育

開催日 3/6

問　鳴沢川高田地区内水対策事業に係る町の負担は。

町長　3年計画で総事業費は8億7，000万円。その内、町の負担は1億4，000万円位を見込んでいる。

問　町税・入湯税で来年度5％減その要因は。

武田税務課長　みたまの湯は1，200人、つむぎの湯は13，440人、減少が予測される。

問　町営墓地の残り区画は。

志村財政課長　全部で1，011区画があり、空いている区画はない。荒れた墓地は調査する。

問　小中学校の外国人指導者は何人いるのか。

一瀬教育総務課長　小中学校10校で指導者は5人配置。

問　木造住宅の耐震診断・改修について何件でどのような内容か。

財政課長　耐震診断は1件。改修は2件で建替えは5件、耐震改修の設計補助は3件である。

問　防災士の資格取得の予定人数は。

長澤総務課長　今年度は2名を予定している。

問　旧大同地区公民館の解体後の利用計画は。

小林生涯学習課長　防火水槽が埋設され、消防詰所がある。今後、地域と相談し有効活用していく。

旧大同地区公民館

厚生

開催日 3/11

問　重度心身障害者医療費助成条例中改正については、医療費窓口無料であったものが、患者は一時自己負担分を支払い、後日払った医療費は払い戻されるという制度なのか。

青柳福祉支援課長　その通りである。

問　重度心身障害者については、手厚く負担のかからないシステム構築をしてほしい。

福祉支援課長　一人ひとりと向き合って手厚く対応したい。

問　老人福祉費の米寿写真撮影代行委託料は、前年の二分の一しか計上していないが、米寿用座布団が支給されなくなるのか。

福祉支援課長　その通りである。

問　平成24年度の国保税のうち、医療費が県下で高い位置にあるが内容の説明を。

林国保年金係長　一人当たりの医療費は、24年度が、33万1，000円、順位は県内で6位に位置している。

また、国保税は、24位で、一人当たり平均8万2，000円である。

問　ドクターヘリ離着陸場の完成予定は。

遠藤いきいき健康課長　来年3月完成に向け努力している。

常任委員会

土木環境

開催日 3/13

問　岩間・久那土線の進ちょく状況は。

河西建設課長　地権者と現在交渉中である。

問　一坪ふれあい農園の借地使用料の適正化は。

丹沢産業振興課長　契約満了時に検討する。

問　橋梁長寿命化の調査は終了したか。

建設課長　現在、橋梁は217ケ所あり調査は終了している。今年度8橋梁の補修工事を予定している。

問　プレミアム付商品券は非常に良い事業である。さらに宣伝をしてはどうか。

産業振興課長　平成21年からはじめ6年目になる。利用場所、利用内容について検討したい。

問　新宇野尾トンネルの照明が暗いが改善を。

建設課長　このトンネルは身延町と共有しており、調査して改善する。

新宇野尾トンネル

組合議会の報告

三郡衛生組合

第3回定例会　12月25日

し尿処理事業並びに火葬事業ともに、順調に運営されていることが報告されました。

久保町長の再選による副管理者再任。

（報告　有泉　希）

中巨摩地区広域事務組合

12月議会　12月26日

清掃センター手数料条例中改正、一般会計補正予算、ごみ処理事業・老人福祉事業・し尿処理事業特別会計補正予算の5案件で原案どおり可決されました。

（報告　市川　朝嗣）

山梨県後期高齢者医療広域連合

第1回定例会　2月21日

後期高齢者医療に関する条例の一部改正2件、補正予算案、平成26年度当初予算案2件の5案件で原案どおり可決されました。

（報告　井上　達雄）

峡南北部二病院統合事務組合

第1回定例会　2月12日

開業に向けてシャトルバス購入、腹腔鏡手術ユニット電気メス購入契約の締結について、他9件原案どおり可決されました。

（報告　松野　清貴）

一般質問

豪雪を教訓に対策を

――検証を行い、今後の対策に生かす――

一瀬　正　議員

問　今回の豪雪を教訓にして、今後の方針は。

町長　今回の経験を活かすためにも、職員の配備体制・除雪への課題・町民からの対応について報告を受け、今後の資料として残し今回の対応について検証を行い、今後の対策に活かしていく。

問　介護サービスの見直し案に対する見解と、町の支援策について。

町長　この法律案は、地域の互助と行政の公助が総合的に対応する「地域包括ケアシステム」の完成と、保険料の軽減拡充などの見直しが主な内容。新しい介護予防・日常生活支援総合事業の推進のため、地域のあらゆる仕組みを巻き込んだ取り組みを推進していく。

問　重度心身障害者医療費窓口無料化の廃止にむけて、町の子育て支援医療費助成金制度を活用するための条例改正を。

町長　制度の目的がそれぞれ違いがある。窓口無料化廃止に伴い、無利子での貸付制度も創設される予定である。また、緊急で医療が必要な場合など、事後貸し付けも認められている。個人負担をできるだけ軽減し、継続して必要な医療が受けられる、体制整備を検討していく。

問　常設展示場として、旧市川警察署の空いている部屋を借りてはいかがか。

町長　常設展示場は、町立図書館の展示コーナーで年間を通して行っている。今後、町民会館ロビーでの常設展示等も含め検討していく。

中央通りの歩道

問　消費税増税による町財政への影響額は。

町長　消費税率が上がることに伴い、地方消費税交付金が対前年度、4，565万円ほど増額となる。しかし、普通交付税は減額になる。歳出への影響額は、需要費、役務費など約6，000万円ほど増額。さらに料金表の改定をする上水道・簡易水道・公共下水道事業などの影響額は歳入では約970万円の増額、歳出においては約1，400万円の増額をみこんでいる。

問　青年層の失業者に雇用促進対策は。

町長　現在、山梨県と連携し、若者の就業支援を行っている。今後も※「サポートステーション」や※「ジョブカフェ」などと、さらに連携し、支援を図っていく。

問　中央通りの歩道の活用策は。

町長　町全体で、ウォーキングに適したコースの選定を計画していく。

※サポートステーション
若者に、専門的な相談や訓練など就労に向けた支援を行っている。

※ジョブカフェ
若者の、就職支援をワンストップで行う施設。

一般質問

町立保育所の建て替えは

村松武人 議員

――市川・富士見統合も含め検討――

問　市川・富士見2つの保育所の建て替え、統合について今後の方針は。

町長　市川保育所の建て替えについては、富士見との統合も含めて検討している。用地の選定を進め、関係者等による検討組織を立ち上げ、保護者との話し合いを進めたい。

問　市川南保育所は土砂災害警戒区域の指定地である。今後の建て替え、統合の考えは。

町長　耐震規準の点では問題はないが、防犯上の問題、又は土砂災害の危険も想定されており、地元の意向も踏まえできるだけ早い時期に検討する。統合は考えていない。

問　今、備蓄倉庫は何棟か。

町長　耐震備蓄倉庫は現時点で14棟ある。

問　人口に対しての備蓄量は。

町長　アルファー米、4万8，000食、カロリーメイト、2，400食の計5万400食で、人口1万7，157人で3食となり1日分である。

市川保育所

問　備蓄水の保存と期限は。

町長　4万5，600リットルで1日弱です。食料・水とも賞味期限は5年間で、食料は順次入れ替えている。水は手洗い等使用可能なので期限後も備蓄してある。

問　今回の大雪で備蓄食料は利用されたのか。

町長　水10箱、120リットル分を畑熊地区に届け利用した。

※ＩＣＴ
情報通信技術の略。コンピュータ技術の活用に着目した通信システム。

問　大同地区での※ＩＣＴの活用は。

町長　通信網が寸断されなかったため、電話やテレビ電話等で安否確認ができたので、システム活用まで至っていない。

問　臨時職員は何名で年齢制限、任期は何年か。

町長　役場関係で120人、病院31人、老健施設10人の計161人。任用開始から3年間で65歳まで、非常勤嘱託の雇用は5年間で65歳までとなっている。

問　ふるさと納税者の総数・金額とお礼は。

町長　計13名、70万円で最高額は10万円、最低額は1万円です。平均5万3，800円で、お礼の方法は礼状、市川三郷レンジャーのタオル・バッヂ・ボールペン等を贈り、希望者のみ広報紙に掲載している。

一般質問

大雪と地域防災計画について

――記録を残し次の教訓としていく――

内藤　優　議員

問　今回の豪雪被害の現状をどのようにとらえ、その対応策をどのように考えるか。

町長　住民と行政がともに協力し合わなければ、災害と向かい合うことはできない。

今後は、共助の実効性の確立が必要と考え防災士を13人養成した。災害時に活躍していただき、地域防災力の向上につなげたい。今回の記録を残し、次の教訓としていく。

問　今回2度の大雪で、何件くらいの要請や問い合わせがあったのか。

河西建設課長　最初の大雪の時も100件くらい、さらに2度目の時にも100件近くあった。対応については、主要幹線から除雪をすすめた。

問　区長、組長会議が各地区である。その際に今回の豪雪での教訓を話したらどうか。

町長　今回の事例も整理した上で区長会で協力をお願いしていく。

大雪状況（六郷地区）

問　防災士の役割等について説明してほしい。

長澤総務課長　災害時などに役立てるよう、カリキュラムを60時間くらい受講する。住民募集で、13人が合格している。心臓マッサージなどがカリキュラムにあり災害時には役に立つことが多い。

問　豪雪により、学校は臨時休校になったが、安全通学が守られていたか。

一瀬教育総務課長　今回の大雪の対応について、各学校、給食センター、教育長等と連絡を取り、子どもの安全第一ということで取り組んだ。通学路は地図を持って全部確認した。除雪がうまくいかなかったところもあったが、大勢の協力をいただき通学路を通れるよう協力をいただき確保した。

一般質問

児童・生徒のネット依存対策を

宮崎博巳議員

――家庭と連携を取り早期発見対応を行う――

問　日常生活や健康に支障を来たす、ネット依存中高生が増えている。対策は。

石原教育委員長　厚生労働省研究班の調査では、深刻な状態であり、利用実態調査の把握が進められている。

問　利用実態調査の前に、保護者への啓発を行うことが必要ではないか。

一瀬教育総務課長　親子の学習会や、警察関係者を招聘し地域への呼びかけ等、具体的な取り組みをする。

問　ネット依存に対しての相談が保護者からあるか。

佐藤教育長　峡南地区でも教員の組織で、調査を行っているが、今後細部に渡っての状況調査を行い、学校と家庭との連携をとっていく。

問　地域防災力の中心となる、消防団を取り巻く環境は厳しく、団員も減少しているが、今後の取り組みは。

町長　消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が成立し、団への加入促進、処遇改善、装備教育訓練等、他町村との比較、予算拡充精査を講じていく。

問　団員への優遇処置等の考えはあるか。

長澤総務課長　報酬等も含めた優遇改善を検討する。

町長　生業を持ちながら、有事の際町民の安心安全のために出動していただいている。団員の生命を第一と考え、見直し再確認を行っていく。

問　情報インフラ整備で、現在トランシーバーが配備されているが活用状況は。

総務課長　トランシーバーは、分団の中・現場の限られた交信範囲であるが、点検を含め配備の拡大をしていく。

問　活字離れが指摘される中、読書意欲を高めるため読書通帳の導入の考えはあるか。

町長　児童の図書館利用・読書意欲向上など効果があると報道されているが、県内には、導入図書館はない。新たな機器の購入、システムの整備等、考慮する必要があるため、県内公立図書館と情報交換しながら、検討していく。

問　機械を購入しなくても読者活動を進めている市もあるが。

町長　調査研究をして取り組む。

合同現地調査

―― 総務教育・厚生・土木環境の3常任委員会が合同で3月10日、主要事業の現地調査を行いました。――

町立病院改修事業

町道路線認定に係る箇所確認

大同地区公民館建設事業

鳴沢川・高田地区内水対策事業	平成28年度完成予定

町道矢作・上野線新設改良事業	平成29年度完成予定

議会傍聴にお出かけください

次回定例会は6月に予定されています。

傍聴の定員
本会議 30人　委員会 各8人

◆3月定例会の傍聴実績（のべ人数）
本会議 21人　委員会 13人
臨時会 2人

◆会議録検索システム利用件数
1月から3月まで　1,530件

◆お問い合わせ
議会事務局　TEL055−272−1108

峡南医療センター 開業

市川三郷病院、富士川病院に

市川三郷町立病院と富士川町の社会保険鰍沢病院および、介護老人保健施設「ケアセンターいちかわ」と「サンビューふじかわ」が経営統合し、4月1日から「峡南医療センター」として開業した。

各病院は、峡南医療センターの市川三郷病院、富士川病院となり、統合前に比べて常勤医が4人増の21人になった。市川三郷病院では休診中の小児科診療が再開され、富士川病院では内科の入院患者の受け入れが可能となった。

3月30日には鰍沢病院でセンターの開設記念式典が行われ関係者が門出を祝った。

峡南医療センターは地方公営企業法全部適用の企業団として運営。医師や看護師を集約し、施設ごとに役割を分け、医療体制の充実を図る。

市川三郷病院は日常的で広範囲な医療を実践し、初期診療で患者を包括的に受け入れる「総合診療型」の役割を担う。

富士川病院は救急医療や高度・専門的な医療を実践し、災害医療でも峡南地域の拠点となる「基幹診療型」の役割を目指す。

市川三郷病院

富士川病院

ケアセンターいちかわ

サンビューふじかわ

討論

■重度心身障害者医療費助成条例中改正

（反対）一瀬　正　議員

高い医療費を立て替えることが、経済的に困難で、貸付制度申請も役場に出向くことも出来ない家族も多く、受診をあきらめる人が増えることが危惧されるため、反対する。

（賛成）髙尾　貫　議員

県で自動還付方式に転換が決定。今後貸付制度の創設、限度額適用認定や食事等の標準限度額認定証の申請の利用を広く周知することで、継続した必要な医療を受けられる体制を推進することで、賛成する。

（賛成16・反対1）

■平成26年度一般会計予算

（反対）一瀬　正　議員

地方消費税交付金は増えたが、地方交付税は同額減額されるため、町民の暮らしは困難になる。予算の中、消費税増税分については反対する。

（賛成16・反対1）

■介護保険特別会計予算

（反対）一瀬　正　議員

要支援者の生活援助を改正し、利用料を軒並み倍加しようとしている。保険料を無理して支払っても、施設不足でサービスが受けられない状態であり、国庫負担金も削減され、国民の負担増になるため反対する。

（賛成）髙尾　貫　議員

住みなれた自宅で安心して、暮らせるため介護予防事業に力を入れ、地域包括支援センターとの連携を行い、運営・予防活動を推進するため、賛成する。

（賛成16・反対1）

■平成26年度後期高齢者医療特別会計予算

（反対）一瀬　正　議員

今年度もまた保険料が値上げされ、介護保険料とともに、無年金、国民年金の高齢者にとり大変である。昨年一年間で、普通徴収者が109人増えた事でも苦しい状況下であることが伺え、高齢者医療は無料であるとの立場から反対する。

（賛成）髙尾　貫　議員

医療の安定的な確保を図るため、余剰金の活用と基金の取り崩しを行い、保険料を抑えたもので、賛成する。

（賛成16・反対1）

■戸別浄化槽の整備に関する条例中改正、同予算及び簡易水道給水条例中改正、同予算、他6条例中改正

（反対）一瀬　正　議員

国の責任で消費増税を決めたため、今回の5事業に関する条例中改正・予算に対し反対する。

（賛成16・反対1）

■職員給与条例中改正

（反対）一瀬　正　議員

年2回支給されるボーナスの減給は、県人事院勧告によるものとはいえ、消費税増税も重なり、民間賃金の基準となるべき公務員給与の減額は、影響が多大であるため反対する。

（賛成16・反対1）

人事

人権擁護委員

井上　明彦　氏

宮原1406

審議結果

◎第1回臨時会　(1月27日)	結果	
・大同地区公民館建設工事(建築主体工事)請負変更契約の締結	可決	全会一致
・平成25年度一般会計補正予算(第10号)	可決	全会一致
・平成25年度温泉事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致

◎第1回定例会　(3月4日～18日)		
・平成25年度一般会計補正予算(第11号)の専決予算の承認を求める	承認	全会一致
・峡南北部二病院統合事務組合規約変更	可決	全会一致
・町立病院事業の設置に関する条例等廃止	可決	全会一致
・定数、給与、定年等に関する条例中改正	可決	全会一致
・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中改正	可決	全会一致
・職員の特殊勤務手当に関する条例中改正	可決	全会一致
・コミュニティバス設置及び管理条例中改正	可決	全会一致
・公営企業会計の剰余金の処分等に関する条例中改正	可決	全会一致
・役場支所及び出張所設置条例中改正	可決	全会一致
・公告式条例中改正	可決	全会一致
・社会教育委員条例中改正	可決	全会一致
・公民館設置及び管理条例中改正	可決	全会一致
・重度心身障害者医療費助成条例中改正	可決	賛成多数
・戸別浄化槽の整備に関する条例中改正	可決	賛成多数
・簡易水道給水条例中改正	可決	賛成多数
・農業近代化等賃金利子補助に関する条例中改正	可決	全会一致
・農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例中改正	可決	賛成多数
・水道給水及び下水道条例中改正	可決	賛成多数
・平成25年度一般会計補正予算(第12号)	可決	全会一致
・国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	全会一致
・介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決	全会一致
・訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第3号)	可決	全会一致
・簡易水道特別会計補正予算(第6号)	可決	全会一致
・公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	可決	賛成多数
・農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・戸別浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・温泉事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	全会一致
・病院事業会計補正予算(第2号)	可決	賛成多数
・平成26年度一般会計予算	可決	賛成多数
・国民健康保険特別会計予算	可決	全会一致
・介護保険特別会計予算	可決	賛成多数
・介護サービス事業特別会計予算	可決	全会一致
・訪問看護ステーション西八代特別会計予算	可決	全会一致
・簡易水道及び公共下水道事業特別会計予算	可決	賛成多数
・農業集落排水事業特別会計予算	可決	賛成多数
・戸別浄化槽整備推進事業特別会計予算	可決	賛成多数
・温泉事業特別会計予算	可決	全会一致
・恩賜県有財産保護管理事業特別会計予算	可決	全会一致
・市川・高田・大同財産区特別会計予算	可決	全会一致
・歌舞伎文化公園管理特別会計予算	可決	全会一致
・後期高齢者医療特別会計予算	可決	賛成多数
・上水道事業会計予算	可決	賛成多数
・新町建設計画の変更	可決	全会一致
・町道路線の認定	可決	全会一致
・職員給与条例中改正	可決	賛成多数
・平成25年度一般会計補正予算(第13号)	可決	全会一致
・公共下水道事業特別会計補正予算(第6号)	可決	全会一致
・財産の出資	可決	全会一致
・議会委員会条例中改正	可決	全会一致
・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適任	全会一致
・秘密保護法及び集団的自衛権に関する意見書の提出	可決	賛成多数
・重度心身障害者医療費助成制度の窓口無料の維持を求める意見書の提出	可決	全会一致

請願

◎採択　(全員　賛成)
山梨県に対して「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の維持を求める意見書を提出することを求める請願

請願人
重度心身障害者医療費助成制度を守る会
甲府市丸の内2―9―28
呼びかけ人代表　宇藤　健司
甲府市善光寺3―16―16　北嶋　恒男
笛吹市八代町北1617　土屋　始
笛吹市八代町増利674―1　三浦　雅子
南都留郡富士河口湖町船津4334―3

紹介議員
村松　武人
市川　朝嗣

◎採択　(賛成16　反対1)
秘密保護法及び集団的自衛権に関する意見書の提出を求める請願

請願人
市川三郷九条の会
代表　深澤新次郎
宮原1381番地
顧問　水上　末雄
顧問　上田　武
事務局　代表　功刀　貞如

紹介議員
高尾　貫
内藤　優
一瀬　正
小林　一史

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字詰め原稿用紙1枚以内、氏名（区名）・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。
お問い合わせ：議会事務局　TEL055−272−1108

みんなのページ

市川保育所の子ども達

平成25年度は73名の園児と10名の職員です。年長になると和太鼓演奏に取り組み、地域のイベントや園行事で披露します。他のクラスの子ども達は、頑張っている年長さんの姿を憧れの眼差しでみています。子ども達、先生達、みんなで和太鼓を盛り上げています。子ども達同志のつながり、そのつながりを太く、長くつなげていく事を大切にしています。

今日も園児73名が、元気パワーを発揮し、よく観て、聴いて、考え、一人ひとりが輝いています。

笑顔がすてき

元気いっぱい　和太鼓演奏

編集後記

風の三月、雨降る四月といわれるが、花咲く季節は雨風が多い。出会いと別れの季節でもある。

市川中学校の卒業式で素晴らしい感動をいただいた。心温まる手づくりの卒業式。生徒たちの真摯な眼差し。先生方が巣立ちゆく子どもたちに向ける励ましの眼差し。保護者の方々の喜びと感謝の眼差し。式場に満ち溢れる眼差しの交錯する中で、熱いものが込み上げてきた。

震災から三年。なかなか進まない復興の中で、被災地の子どもたちはどんな卒業式、入学式を迎えたのだろうか。

想定外の出来事に対してきめ細やかな対策を幾重にも考えなくてはならないことは、今回の雪害で改めて認識させられた。

大雪の下に息づいていた蕗のとうの緑が目に眩しい。（記　高尾）

議会広報編集特別委員会
委員長　笠井　雄一
副委員長　市川　朝嗣
委員　佐野　勝也
高尾　貫
川崎　充朗
宮崎　博巳
有泉　希